

# 「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 6 月 30 日

事業名称		清掃管理事務費 [ 清掃管理事務 ]										
予算科目	款	4	衛生費	項	2	清掃費	目	1	清掃総務費	事業番号	2	
事業の種別	<input type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)											
担当部署・課長名	ごみ対策					課			ごみ減量	係	課長名	中山 仁
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。									施策番号	4 - 7		
【施策名】 ごみの減量とリサイクル推進									総合計画書(ページ)	97		
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 ごみ・資源物を排出する市民					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 人口(10月1日現在)						
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 市民が排出するごみの排出量を削減する。					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 市民1人1日当たりの排出量 総排出量(t/年)÷人口(人)÷年間日数(日) ×1,000,000						
	③ そのために何をしましたか。 わかりやすい広報の作成に努め、排出マナーの向上や適正な分別排出について、市民に啓発を行った。 ①ごみ分別ガイドの改訂 ②廃棄物広報紙「ごろすけだより」の発行					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) ①ごみ分別ガイドの改訂回数 ②廃棄物広報紙「ごろすけだより」の発行数						
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標				
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績		令和2年度目標	令和3年度目標			
	対象指標	①の数値	人	85,860	85,534	85,277						
	成果指標	②の数値	g	670.4	663.0	674.3						
目 標	②の目標値	g	680.0	650.0	650.0		650.0	650.0				
目標値設定の考え方 東大和市一般廃棄物処理基本計画による												
活動指標	③の数値	回	①ごみ分別ガイド：1回 ②ごろすけだより：2回		①ごみ分別ガイド：1回 ②ごろすけだより：2回		①ごみ分別ガイド：1回 ②ごろすけだより：3回					
3 経費	事業費(実績)		円	116,009,417	105,407,848	109,231,254						
	財源	一般財源	円	12,002,031	10,986,280	11,633,067						
		特定財源	円	104,007,386	94,421,568	97,598,187						
		(うち受益者負担)	円	104,007,386	94,421,568	97,598,187						
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	3.0		3.0						
		所要人数(再任用)	人									
		職員人件費(再任用以外)	円	24,759,000	24,732,000	24,930,000						
	職員人件費(再任用)	円										
事業費+人件費		円	140,768,417	130,139,848	134,161,254							
4 環境変化等	(1) 開始年度		29 年度									
	(2) 環境の変化 平成26年 8月：収集体制の変更・一部戸別回収の実施 平成26年10月：家庭廃棄物の有料化を導入											

※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。  
人件費(再任用職員以外)  
年間単価は、8,310,000円  
時間単価は、4,300円  
で計算してください。  
【算出根拠】平成30年度決算数値。  
(退職手当組合負担金、共済費も含む。)

事業名称	清掃管理事務費 [ 清掃管理事務 ]			
担当部署・課長名	ごみ対策	課	ごみ減量	係 課長名 中山 仁

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について			
	広報紙のデザインを工夫する等、わかりやすい広報が望まれている。			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。(複数回答可)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組んだ	取組手法：②、④、⑥ (広報媒体：ごろすけだより、ごみ分別アプリ)		
	<input type="checkbox"/> 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換 (広報媒体： ) ⑦後援・場の提供 ⑧その他 ( )		
(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点				
7 課題	(1)平成31年度に課題とした内容(「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題(3)を転記)			
	ごみや資源物が不適正に排出されることが見受けられる。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>セブン-イレブンのペットボトル事業について掲載した特別号を含め、広報紙を年3回発行し、市民に廃棄物の減量と適正な排出を訴えた。</li> <li>保育園や学校と連携して、子どもたちが廃棄物に関心を持ってもらえるように環境学習を行う場を設けた。</li> </ul>			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案)			
ホームページやごみ分別アプリ、広報紙など様々なツールを用いてごみの減量や適正な排出のための啓発をする必要がある。				
8	施策貢献状況 (この仕事は、総合計画(基本計画)に掲げる課題の解決手段になっているか。)			
施策名： ごみの減量とリサイクル推進				
<input checked="" type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある(事業名： )				
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性(「7 課題(3)」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など)			
	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止			
	【取組内容】 今後も市民の適正排出に向けた広報活動を継続していく。			
(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等				
市民への周知方法の拡大。				